

53. 5. 18

大地は平らになるか

岩石にもいろいろなでき方があります。みなさんは、たい積岩、火成岩、変成岩ということばを耳にしたことがありますか。

岩石は、そのでき方によって大きく上記の三つに分けられます。

● レキ岩、サ岩、デイ岩などのたい積岩は、以前は水成岩とも呼ばれました。それは、たい積岩の多くが海の中にたまってできたことと関係しています。海の中にたまる石、砂、泥の多くは、陸上の岩石が風、雨などの作用によって風化されて海まで運ばれてきたものです。たい積岩（地層）をつくる作用は、陸地の一部を削り取って海へ運ぶ作用でもあるのです。この作用は、山を低め、海をうめたてていきます。すなわち、それは地球の表面のおうとつをなくすように働き、大地を平らにする作用ともいえます。



この働きは、風や雨によっておこなわれますが、その風や雨を動かすエネルギーは太陽の放射熱です。つまり、太陽エネルギーが形をかえて地表面のおうとつをならす作用をしているといえます。

太陽のエネルギーは 大地を平らにしている

地球の誕生いらい、40数億年間、太陽放射は休むことなく大地を平らにする作業をすすめてきました。それにもかかわらず、大地は相変わらず山あり、谷ありで一向に平らになる気配がありません。もうそろそろ平らな地表面になってもよいのではないのでしょうか。いまだに立山連峰のようにけわしい山々があるのはなぜでしょう。

実は、もう一つ、地表面にでこぼこをつくらうとする作用が働いているのです。このエネルギーは、主として、地球内部にあると考えられています。そして、その作用によって火成岩や変成岩ができるのです。これはどんなものなのでしょうか。これについては、またいつかお話ししましょう。

富山市科学文化センター	〒930	富山市丸の内 1-4-50
建設準備事務局	TEL	富山市立図書館内 32-7272 (内線 58, 59)